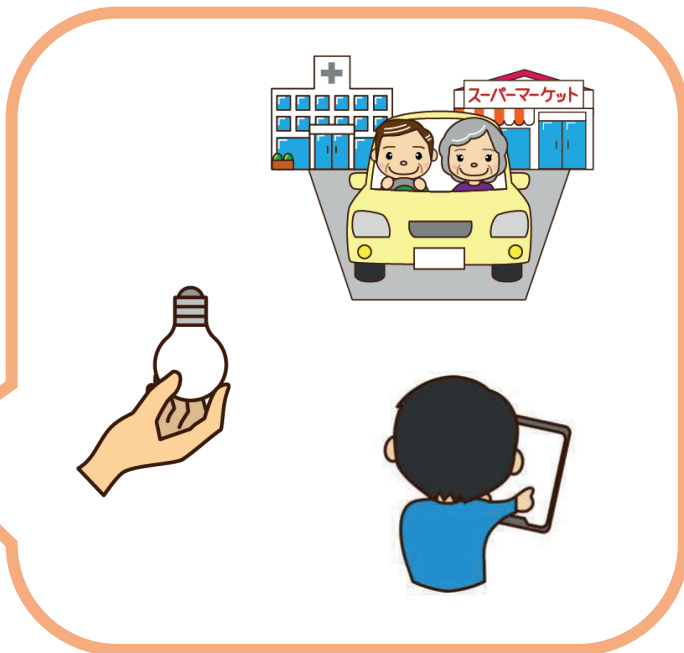


令和7年度 札幌市生活支援体制整備事業 生活支援コーディネーター活動事例集



生活支援コーディネーターキャラクター
さぼっちー



令和8年3月

はじめに

○生活支援コーディネーターは、高齢者をはじめ地域にお住まいのみなさんが、いつまでもいきいきと安心して生活できるよう、地域組織や関係団体、社会福祉法人、民間企業などと連携しながら、日常生活の支援体制の充実を図り、支え合いの仕組みづくりを推進する役割を担っています。

○札幌市内においては、10区に第1層生活支援コーディネーター、27の地域包括支援センターエリアごとに第2層生活支援コーディネーター（生活支援推進員）が配置され、各担当地域で様々な取組を展開しています。

○本冊子では、第2層生活支援コーディネーターの取組から、各区より1事例をピックアップして紹介しています。生活支援コーディネーターの活動について、理解を深めていただき、さらなる生活支援の充実、支え合いの仕組みづくりに向けて、一層のご協力をいただければ幸いです。

目次

1. 札幌市における生活支援体制整備事業	1
2. 令和7年度における札幌市全体での取組	2～4
3. 生活支援コーディネーター活動事例	
紹介事例マップ	5
中央区（第1包括エリア）	6
北 区（第1包括エリア）	7
東 区（第1包括エリア）	8
白石区（第3包括エリア）	9
厚別区（第2包括エリア）	10
豊平区（第1包括エリア）	11
清田区（第2包括エリア）	12
南 区（第1包括エリア）	13
西 区（第3包括エリア）	14
手稲区（第2包括エリア）	15
4. 第2層協議体会議の開催状況	16～17

札幌市における生活支援体制整備事業

ひとり暮らしや支援を必要とする高齢者が増加する中、地域組織やボランティア、老人クラブ、社会福祉法人、NPO、民間企業など地域の多様な主体が連携を図り、ちょっとした生活の困りごとを解決する高齢者の生活支援の体制を整え、「支え合いの仕組みづくり」を進めます。

① 社会資源の把握・資源開発

地域にある様々な情報を把握・整備します

生活支援に関する有償サービスやサロンなどの地域の居場所など、高齢者の生活にとって必要なサービスや場所などを把握し、「見える化」を行います。不足するサービスについては、新たに開発します。

② 生活支援ニーズの把握・共有

高齢者の生活に関する困りごとを調べます

地域にどんな困りごとが多く、どのような理由があるのかをアンケート調査や関係機関の会議への出席などにより把握・分析し、地域の方と共有したうえで、市民に発信・周知します。

③ 担い手の育成・発掘

元気な高齢者の社会参加を応援します

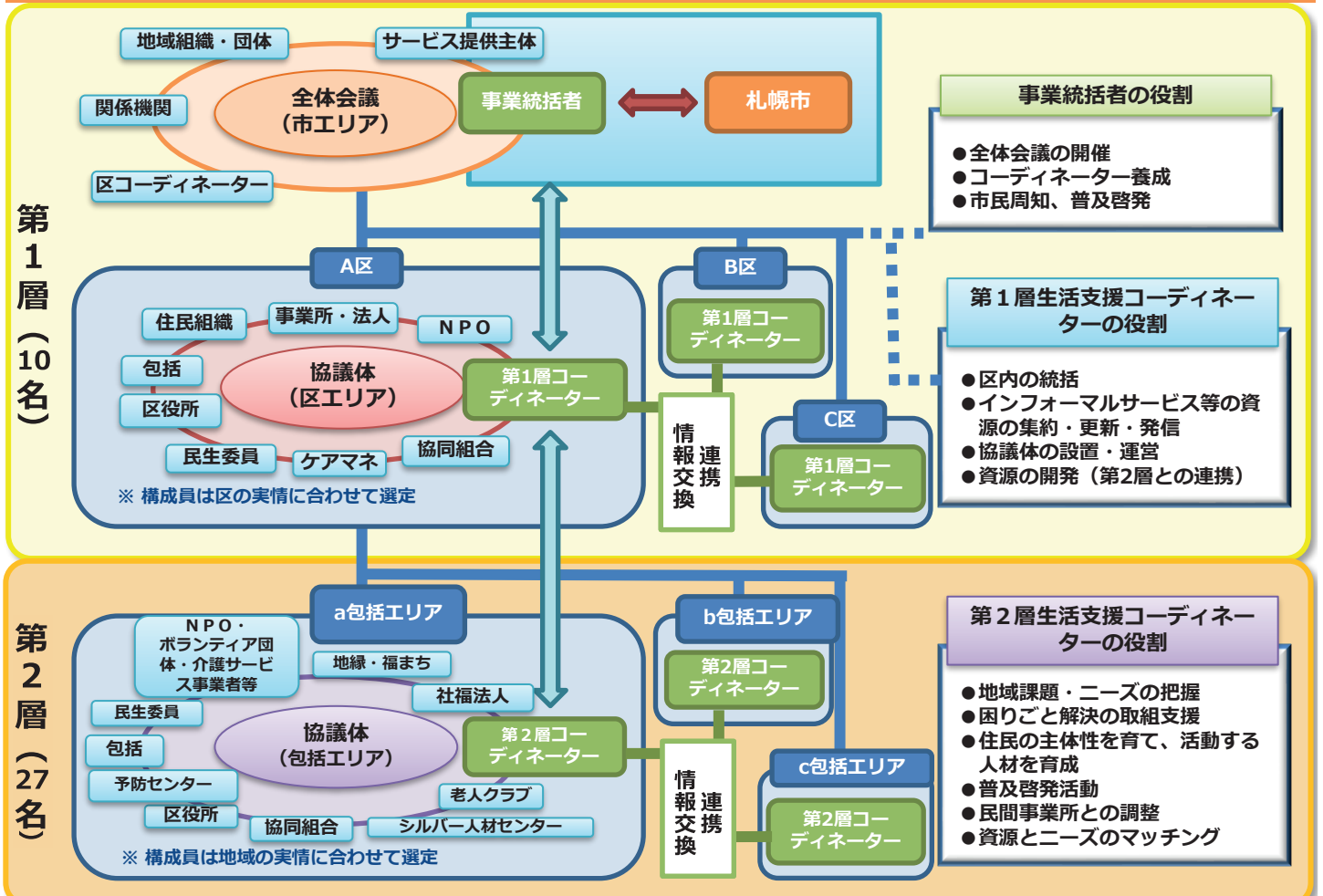
住民への説明会、ボランティア講座や住民ワークショップの開催などを通じ、「住民主体による支え合いの大切さ」を伝えるとともに、支え合いに参画する担い手を養成します。

④ 協議体の設置と運営

地域の困りごとやその解決方法を考えます

地域住民や関係機関などが集まり、地域における生活課題や情報共有、連携を強化し、地域の支え合い活動（ごみ出し、掃除、外出支援等）の仕組みづくりにつなげます。

札幌市生活支援体制整備事業（イメージ）



令和7年度における札幌市全体での取組






「新・札幌ニーズ11（イレブン）」

①ゴミ関係	②除雪	③移動手段 (通院・余暇等)	④買い物	⑤高所作業 (電球交換、窓 ふき、掃除等)	⑥重いものを動 かす・運ぶ (家具、灯油タン クの運搬等)
⑦身元保証	⑧話し相手・相談相 手、かかわり・つ ながり	⑨生活に必要な情 報の入手、スマ ホ・インターネット ・家電の操作や 使い方	⑩区役所・公共料 金・宅配等の手続 き(書類の書き方)	⑪担い手不足 (町内会・自治会の 当番ができない等 も含む)	

令和6年度の札幌市生活支援推進連絡会（市協議体会議）において、解決の必要性について優先順位が高く、札幌市全体としての共通する生活支援ニーズとして、11個にまとめ、「新・札幌ニーズ11（イレブン）」（上記）としました。
 現在、各地域の状況に照らし合わせながら、11個のニーズの中から解決すべきニーズを絞り、市・第1層（区）・第2層（包括エリア）が連動し、様々な取り組みを展開しています。

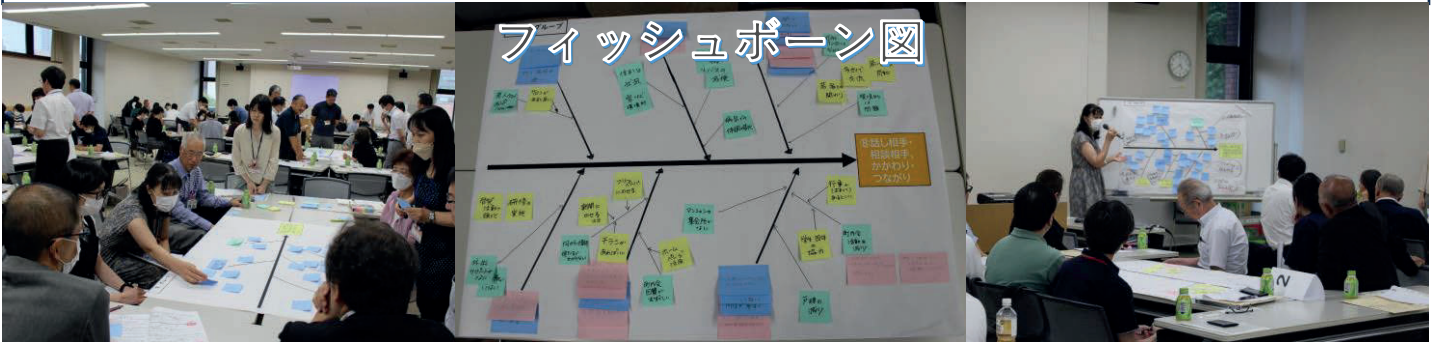
「新・札幌ニーズ11」に対する取組例

②除雪	➔		老人クラブで、福祉除雪地域協力員として活動。オリジナルジャンパーを着て、福祉除雪の対象外の範囲も除雪！
③移動手段 (通院・余暇等)	➔		地元の社会福祉法人が地域貢献。送迎車両と運転手の空いている時間を活用し、市営住宅の買い物に困っている高齢者の足に！
⑨生活に必要な情 報の入手、スマ ホ・インターネッ ト・家電の操作や 使い方	➔		町内会と地元の高校がコラボ。「スマホ相談会」を開催し、高齢者等のスマホのお悩みを高校生が解決！

札幌市生活支援推進連絡会（市協議体）

第1回【令和7年8月27日（水）開催】

「『新・札幌ニーズ11』について、より深く掘り下げましょう!」をテーマに、地域住民をはじめ、福祉専門機関、行政職員、民間企業、学校関係者、学生等総勢85名が一堂に会して意見交換を実施しました。ニーズ毎（一部ニーズを統合）に、グループに分かれて、各ニーズの要因を深く掘り下げ、解決策案を見出すため、フィッシュボーン図（ある結果（特性）と、それに影響を与える原因（要因）を魚の骨のような図にして見える化し、根本的な問題を特定するもの）を作成しました。



第2回【令和8年2月2日（月）開催】

1回目の協議体で抽出された 各ニーズに共通する要因と解決策を踏まえ、具体的な取組方法について、市圏域、第1層（区）圏域、第2層（地区）圏域でそれぞれ取り組めそうなことについて話し合いました。

● 「新・札幌ニーズ11」

に共通する**要因**は…

- ① 「つながりが減少」
- ② 「ネット、スマホ等が使えない」
- ③ 「ADL※の低下」 ※ (Activities of Daily Living: 日常生活動作) は、食事・着替え・トイレ・入浴・移動など、人が日常生活を送るために不可欠な最低限の基本動作のこと
- ④ 「情報不足」
- ⑤ 「移動手段がない」



● 「新・札幌ニーズ11」

に共通する**解決策**は…

- ① 「若い世代へのアプローチ」
- ② 「企業・法人・団体等との連携」
- ③ 「周知啓発、情報発信」
- ④ 「スマホ等電子機器のレクチャーの機会」
- ⑤ 「交流の場、イベントの実施」



今回の協議体で出された具体的な解決策をヒントに、令和8年度以降は、全市・1層（区）・2層（地域包括エリア）が連動した仕組みづくりを目指します！

「きて・みて・きいて♪ひろげよう！ささえあい・たすけあい」

【令和8年1月17日（土）@チ・カ・ホ（札幌駅前通地下歩行空間）】

より多くの市民の方々に事業のことを知っていただくこと、周知啓発イベントを今年も開催しました！

事業PRのパネル展示や体験コーナーの他、新たな取り組みとして、「新・札幌ニーズ11」を題材にした“クイズラリー”を実施。参加いただいた方にはオリジナルグッズをプレゼントした他、アンケートも併せて実施し、ささえあい・たすけあい活動の担い手発掘も行いました！また、認知症と行政書士のお仕事について、講師をお招きし、ミニ講座も新たに実施しました。

会場となるチ・カ・ホには、年齢や性別が様々な方々が行き交っているため、多くの市民の方に“きて・みて・きいて”いただき、事業のことをひろげる機会となりました！



「生活支援等サービス情報一覧」の作成及び配布

生活支援コーディネーターは、それぞれの地域における生活支援に関するサービスや場所の情報を把握する活動も行っています。

その情報を一覧表として整備し、地域住民をはじめ、高齢者等から相談を受ける地域包括支援センターやケアマネジャー等の関係者にご活用いただき、介護保険では対応しきれない、ちょっとした困りごとに応える一助となることを目指しています。

一覧表の掲載内容については、生活支援コーディネーターが地域の困りごとを把握しながら、サービス等の情報収集を行っているため、区によって若干異なります。

主な掲載情報としては、買い物支援サービス、家事支援サービス、外出支援サービス、サロン等の集いの場となっています。



各区の「生活支援等サービス情報一覧」は各区社会福祉協議会で配布している他、札幌市社協のホームページ（下記URL）からダウンロードが可能です。ぜひご活用ください！

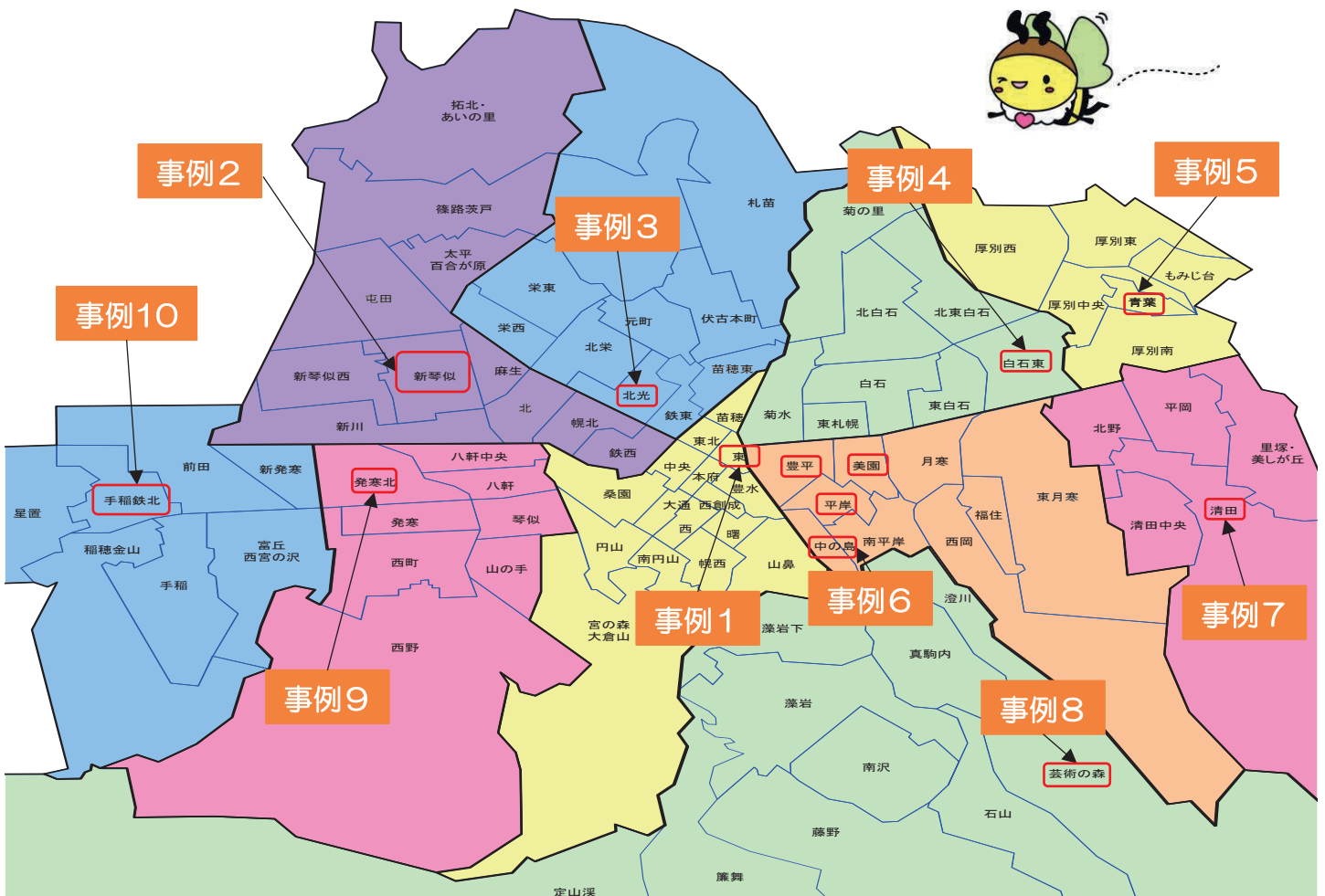
https://www.sapporo-shakyo.or.jp/join/lifestyle_support/service_info.html



▲掲載ページ
QRコード

生活支援コーディネーター活動事例紹介

事例	区	第2層エリア	地区	タイトル
1	中央	第1エリア	東	「『おちゃのま』を拠点にした支え合いづくり」
2	北	第1エリア	新琴似	「今後の支え合いに向けた様々な取り組み」
3	東	第1エリア	北光	「連携が生み出した支え合い」～道営住宅での困りごとをみんなで解決しよう～
4	白石	第3エリア	白石東	「柏町内会 移動手段の困りごとの解決へ向けて」
5	厚別	第2エリア	青葉	「支えあいへのスタートは住民の意見を聞くことから始めよう！」
6	豊平	第1エリア	豊平、美園、平岸、中の島	「多様な社会資源との連携を目指して！エリア全体で取り組んだ 大人食堂」
7	清田	第2エリア	清田	「清田町内会における関係機関との連携による地域福祉ニーズの把握と集いの場づくりに向けた取り組みについて」
8	南	第1エリア	芸術の森	「地域住民主体の買い物支援活動」
9	西	第3エリア	発寒北	「『新・札幌ニーズ11』に基づく調査と今後の取り組みについて」
10	手稲	第2エリア	手稲鉄北	「広報紙による取り組みの発信から新たな担い手の発掘・活躍へ」



活動事例
1

中央区 第1エリア 東地区
「『おちゃのま』を拠点にした支え合いづくり」



●事例の概要

NPO法人E-LINKが北海寺で展開する寺子屋プロジェクト「おちゃのま」の場（“地域みんなの居場所”）を拠点とした支え合いの仕組みづくり

●事例の地域の概要

マンションが立ち並ぶ都心部(創成川東エリア)。連町・地区社協からも、高齢者がなかなか行事などの場に集まらないのが悩みとの声も把握されています。

●具体的な取組内容

令和3年度以降、高齢者にも足を運んでもらえるような“地域みんなの居場所”から、多世代型の支え合いの仕組みづくりにつながっていくように、関係者・関係機関、地域の方々を交えた話し合いの場として、「おちゃのまサミット」(協議体)を継続的に開催しています。

「おちゃのまサミット」(協議体)



R6 おちゃのま地域食堂



R7 お寺の交流サロン「おちゃのま」



民児協、連町・地区社協など、段階的に、いろいろな地域の方々にご参加いただき、様々な立場の方から、ご意見、アイデアをいただく中で、令和6年度から地域食堂、今年度からは、お寺の交流サロンがスタート。最初は、子ども中心の場所だった「おちゃのま」から、少しずつ高齢者にも足を運んでもらえる居場所へとシフトしてきており、自然発生的に、この場に限らない参加者間の交流やつながり、何気ない助け合いも生まれています。



生活支援コーディネーターとしての思い

貴重な社会資源の一つとして、地元の高齢者を巻き込み、地域に根差した取り組みとなっていくよう、連町や地区社協などの力もお借りしながら、居場所での交流から、日常的な“つながり”や“助け合い”が生まれるような仕組みづくりを目指し、取り組みを応援していきます。

活動事例 2

北区 第1エリア 新琴似地区 「今後の支え合いに向けた様々な取り組み」



●事例の概要

新琴似地区にて、前々より地域の中の支え合いのしくみを創出させたいという希望があったため、養成講座を行い担い手の創出に向けて活動を始めました。

●事例の地域の概要

新琴似地区は、総人口38,200人、高齢化率は31%を占めており、北区でも3番目に高齢化率が高い地区とされています。

●具体的な取組内容

昨年度、新琴似地区で生活支援に関心を持ってもらえるよう、「ボランティア養成講座」を開催しましたが、名前の堅苦しさや拘束時間の長さ、その他条件を設けたこともあり、参加者が2名のみでした。そこで今年度は、「支え合い講座」に名称を変更して開催し、参加へのハードルを下げることを図りました。

協議体を開催し、地域の方と試行錯誤

地区全体の取り組み

「支え合いについて少しでも知ってほしい」という気持ちで令和7年度も開催。参加者は10名の参加があり、そのうち5名が今後も地域の為に活動したいと希望がありました。

今後話し合いを行い、次年度に向けて進めていく予定です。



町内会での取り組み

参加していた町内会長が生活支援に関心をもち、自分の町内会でも開催したいということで、ニーズ調査後、養成講座を開催。現在実際の活動に向けて準備を進めています。



生活支援コーディネーターとしての思い

とにかく少しでも、地域の中での支え合いのしくみの大切さを知ってもらうために普及啓発を沢山行いました。自分には難しいと思われる方も中にはたくさんいました。これからも生活支援体制整備事業を理解してもらえる機会を増やしていきたいと考えています。

活動事例
3

東区 第1エリア 北光地区
「連携が生み出した支え合い」
～道営住宅での困りごとをみんなで解決しよう～



●事例の概要
道営住宅のちょっとした困りごとの解決に向けて自治会、くらしのサポーター、生活支援ボランティアの3者が連携した取り組みが始まりました。

●事例の地域の概要
北光地区にある築53年の道営住宅で入居者は477人。高齢化率は50.8%、特に75歳以上の高齢者、単身高齢者が増加しています。

●具体的な取組内容

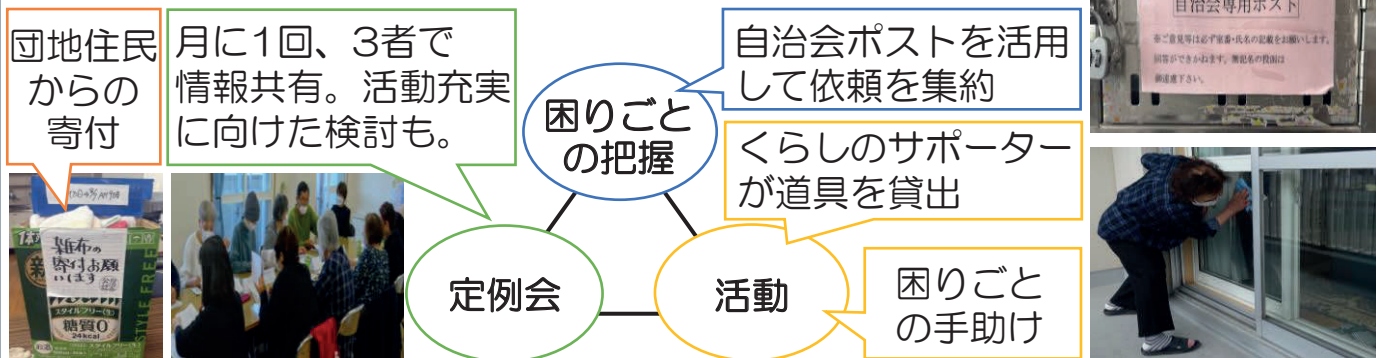
団地内の担い手発掘のため、令和5年に「くらしのサポーター（※）養成講座」を開催。受講者から団地内の支え合いだけでは限界があるという声がありました。
※くらしのサポーター：ちょっとした困りごとを手助けしてくれる方、地域づくりを一緒に進めてくれる方

令和6年7月～ 既存の地域資源（生活支援ボランティアタッピー）との連携を検討
取り組みに向けて、お互いの課題・できそうなことを共有（協議体開催）



令和6年12月 取り組み開始

チラシを作成して団地住民へ周知し、現在まで15件活動。新たな気づきや取り組み、団地の状況把握にも繋がっています。



生活支援コーディネーターとしての思い

単身高齢者が多い団地では、住民がちょっとした困りごと（換気扇掃除や窓拭き）を解決することは難しくとも、自分の住む団地を良くしたいという思いから、一緒に考え、活動に必要な道具の貸出や寄付をしてくれています。入居する子どもや外国人の参加促進等、活動の拡大・充実に向けて一緒に考えていきたいです。

活動事例

4

白石区 第3エリア 白石東地区

「柏町内会 移動手段の困りごとの解決へ向けて」



●事例の概要

柏町内会では、バス路線廃止の影響もあり、移動に関する困りごとが多いことがわかりました。住民アンケート調査（全戸配布）を実施し、具体的な困りごとを把握したうえで、町内会と一緒に解決に向けた取り組みを進めています。

●事例の地域の概要

約650世帯が加入し、高齢化率は約27%。住民同士の交流を重視し、多くの行事を開催されている活動が活発な町内会。最寄りの地下鉄駅までは徒歩20分程かかり、令和5年に同駅へアクセスするバス路線が廃止され、移動に不便が生じています。

●具体的な取組内容

令和6年度 町内の老人クラブ柏山会

「生活の困りごとに関する意見交換会」

→移動手段に関する困りごとが多くあげられました

- ・区役所、銀行、買い物等への移動が不便
- ・バスが無くなり会合に出られなくなった
- ・外出機会が減少した

＜生活支援コーディネーター＞

町内会長へ相談

→移動手段の困りごとの解決へ向けて町内会として取り組むことに

令和7年7月 柏町内会協議体

町内の移動手段に関する課題を共有し、どんな解決方法が考えられるか話し合いを行いました。

→住民のニーズを把握するために、アンケート調査（全戸配布）を実施する

＜生活支援コーディネーター＞

住民アンケート調査・分析を実施

- ・高齢者がいる世帯の66%、車を運転できる人がいない世帯の77%が移動に不便を感じている
- ・通院や区役所、買い物への移動が不便との回答が多数

＜町内会／生活支援コーディネーター＞
近隣の社会福祉法人、事業所等へ取り組み説明・協力依頼を行いました

→介護保険施設より協力の申し出がありました！



移動支援に協力します！

車輛の提供可能です！



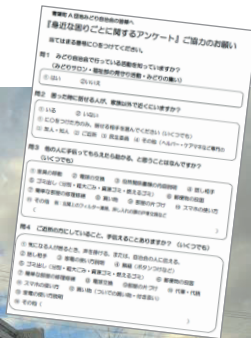
地域の皆さんと協力施設と一緒に、協議体の開催を重ね課題解決へ向けた取り組みを検討していきます

生活支援コーディネーターとしての思い

移動に関する困りごとは、買い物や通院など生活が不便になるだけでなく、外出しにくくなることで閉じこもりがちになり、社会とのつながりが薄れることも懸念されます。解決が難しい課題ではありますが、町内会や地域の福祉施設が前向きに取り組んでくださっていることを心強く感じています。地域でできる解決策を目指し、さまざまな地域資源と連携しながら取り組みを進めていきます。

活動事例
5

厚別区 第2エリア 青葉地区
「支えあいへのスタートは
住民の意見を聞くことから始めよう！」



●事例の概要

みどり自治会は、居住者の半数以上が70歳以上の集合住宅。福祉部員が月に1回、独居高齢者の見守り訪問を実施。また、ちょっとした困りごとは、隣近所・役員が個々にお手伝いしています。ただ、高齢化が進む中、それが難しくなってきたことから、自治会としての支え合いの取り組みを検討することになりました。

●事例の地域の概要

高齢化率50%弱の青葉地区は、長く住んでいる人が多く、住民同士のつながりを大切にしています。

●具体的な取組内容

☆令和6年11月

地区地域ケア会議開催後、自治会長から地域包括支援センターにゴミ捨てに関する相談が入り、2層が引き継ぐことになる。

ゴミ捨ての他にも「ちょっとした困りごと」を抱えている人がいるのではないかと考えている人がいるのではないかと。手伝ってくれる人はいても、その人がずっとできるわけではない。自治会と一緒に考えてみるのはどうだろうか。。。



☆令和7年2月・7月 役員と1・2層生活支援コーディネーターにて打合せ（2回）

ゴミ捨てや、その他の困りごとに関し、現状を共有する。話を聞く中で、ボランティア組織立ち上げを目指すこととなり、まずは「アンケートで住民の意見を聞いてみよう！」ということが決定。

☆令和7年9月

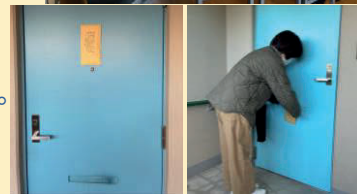
アンケート内容、今後のスケジュールについて話し合う。内容は、困っていること、お手伝いに関すること、自治会への希望など7項目決定。スケジュールが決定。一つずつ前へ。

☆令和7年11月

役員により、配布に向けての準備
実際に配布・回収へ



回収は、アンケートを入れた封筒をドアに貼ってもらう方法です。



☆令和7年10月

福祉部員へプレアンケートを実施。そこでの意見を取り入れ完成！

生活支援コーディネーターとしての思い

住民の意見を常に意識しているみどり自治会は、見守りやサロン活動、さらには手作り雑巾の小学校への寄贈など、「お互いさま」の気持ちを大事にされています。今後はアンケート結果をもとに、その気持ちが新たな支え合いへつながるよう、お手伝いしていきたいと思ひます。

活動事例
6

豊平区 第1エリア

「多様な社会資源との連携を目指して！
エリア全体で取り組んだ 大人食堂」



●事例の概要

地域で孤立しがちな高齢者の外出や交流の機会として、2つの社会福祉法人の協力（会場と送迎手段の無償提供）と、同エリアの各地区から住民ボランティアの協力（食堂の運営）を調整し、試験的に「大人食堂」を開催。

●事例の地域の概要

各地区に地下鉄の駅を擁し交通便が良い地域。いずれの地区も市全体の高齢化率28.5%より低い数値、一方で、マンションやアパートに住む高齢者の孤立等は共通の課題となっています。

●具体的な取組内容

大人食堂開催のきっかけ

●家族を家庭で介護する男性の住民から

普段の食事は、簡単なものか
買ってきたもので済ませている

昔、家庭で食べていたような
懐かしいカレーライスが食べたいなあ



●一人暮らしの高齢者が集まる地域のサロンで

外食する機会が減っている
1人で食事するのは寂しい

誰かと一緒に食事がしたいなあ



地域の高齢者のニーズを把握 ➡ 調理ができて集まれる場所を調査！

場所の提供



特別養護老人ホームノテ中の島

移動支援の協力



介護老人保健施設豊翔の郷

住民ボランティアの協力



参加者の感想

32名の参加者がカレーライスの会食と講話などを楽しみました！



- 高齢者を気にかけて、地域で色々と考えてくれることが嬉しい。 ☆中の島地区の住民☆
- 自分たちの活動でも、足が悪い方には移動の問題がある。助けが借りられたら嬉しい。 ☆平岸地区の住民☆
- 男性も食堂のボランティアをしていて素晴らしい、自分の地域にも色々な人が活躍できる場があればいいな。 ☆豊平地区の住民☆

生活支援コーディネーターとしての思い

住民組織の役員の方々からの「最近行事に来なくなった人がいる」「誘っても出てこない高齢者がいる」との声と、一人暮らしの高齢者の食に関するニーズから「誰でも来れる地域の集い」を実現したい、という思いで今回の企画を実施しました。交流の機会に移動支援を組み合わせることで足腰が弱くなり孤立しがちな高齢者もお誘い出来るアイデアを地域に発信出来ました！

活動事例
7

清田区 第2エリア 清田地区

「清田町内会における関係機関との連携による地域福祉ニーズの把握と集いの場づくりに向けた取り組みについて」



●事例の概要

関係機関との連携で、地域住民の交流のための場と機会を創設。その流れから地域の福祉の解決のための懇談会（協議体）を実施し、地域住民の合意により、集いの場の継続させるためのサロン発足に至りました。

●事例の地域の概要

地域の交流の機会が失われ住民の孤立化が進んでおり、集いの場となる拠点の確保も課題でした。集合住宅も多く見守り活動等へのアプローチが難しいです。関係機関に寄せられる相談（介護保険や認知症等）も地区内では多く、支援が行き届かない住民の存在が予測されます。

●具体的な取組内容

今年度、地域包括支援センターの働きかけにより、従来からのネックであった活動拠点の確保が区内NPO団体の協力でなされました。その拠点を活用し、介護予防センターにより「高齢者の孤立防止や社会参加」促進のための取り組みとして介護予防教室が実現。

次の展開へ

令和7年8月から開始した期間限定介護予防教室も10月末で終了を迎えます。これからどうする？

みんなで話し合い

これからの話し合う懇談会（協議体）を開催しました。その中で、困り事解決のためには「介護保険サービスなどの制度の周知や利用も重要」「一方では制度に依らない地域住民相互の支え合いこそ大切」「こうした集いの場は是非とも継続していきたい」との意見が出たことを受け、予防センター、区社協と連携し、集いの場の活動継続につながりました。



生活支援コーディネーターとしての思い

地域住民主体による支えあいを進めるために、解決を要する課題に多々直面します。活動の場と機会の確保は前提ですが、同時に一步を踏み出すタイミングの見定めは重要です。

当事例は、好機を捉え予防教室実施に踏み切ったことで、地域住民の取り組みのイメージや意欲が高揚し展開につながりました。関係機関との円滑な連携により生じた好事例と考えます。

活動事例
8

南区 第1エリア 芸術の森地区
「地域住民主体の買い物支援活動」



●事例の概要

「車を所持していない方」に買い物支援ができるような地域にしたい！住民の皆様と生活支援コーディネーターと一緒に、買い物支援に焦点を当てた情報収集や意見交換を実施し、芸術の森地区での「買い物支援活動」を進めています。

●事例の地域の概要

芸術の森地区は、人口16,266人、高齢化率38.4%。スーパーと商店が1か所ずつありますが、交通手段が限られているため不便が生じています。

●具体的な取組内容

福祉のまち推進センターから「車を所持していない方」に買い物支援ができるような地域にしたいという相談があり、意見交換（協議体）を開催しました。様々な意見が出る中、生活支援コーディネーターから、買い物支援を通じた住民主体の地域づくりの重要性について説明し、今後の活動方針も皆で決めていくことを確認しました。



「買い物支援活動」を通じて住民同士の繋がりを意識した拠点づくりや支え合いを広めていくことになりました！



【生活支援コーディネーターとしてのかかわり】

- ・住民の皆さんが主体的に今後の方向性を決めていくための自由な意見交換ができるような場づくりと情報提供
- ・地域の社会資源の調査や連絡調整を支援

活動の結果



地区内にあるサービス付き高齢者向け住宅に移動販売が来ていることを把握。近隣住民の利用についてご協力をいただけることになり、新たな買い物支援の場が誕生！これからも地域に買い物ができる場所を1か所でも増やしていくために、住民の皆さんと話し合いながら活動を進めていきます！



生活支援コーディネーターとしての思い

地域住民主体の活動が進むよう、自由な話し合いの場づくり、必要な情報収集・調整を行いながら一緒に活動してきました。今後も地域の皆さんの思いを大切にしながら活動を支えていきたいと思えます。

活動事例
9

西区 第3エリア 発寒北地区
「『新・札幌ニーズ11』に基づく調査と今後の取り組みについて」



●事例の概要

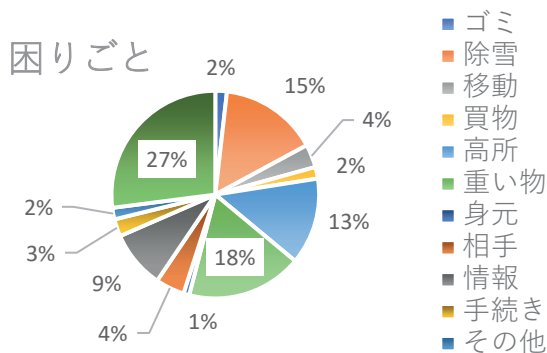
「新・札幌ニーズ11」に基づくアンケート調査を実施し、地域の困りごとを把握しました。その結果を住民・関係機関と共有し、今後の取り組みについて協議しました。

●事例の地域の概要

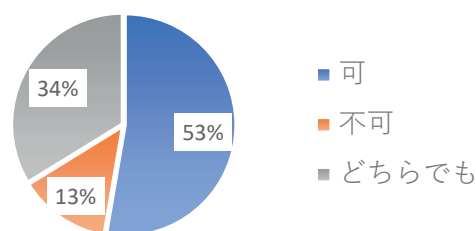
高齢化率は30.6%と西区内で上位です。住宅街・商店街と工業地帯が隣接する地域となっております。

●具体的な取組内容

令和7年度からコーディネーターに就任して、まずは地域の特徴を知るべくアンケート調査を実施しました。6-7月に介護予防センター発寒の協力をいただき、すこやか倶楽部参加者を主な対象として実施しました。調査結果は、“困りごと”として「除雪」「高所作業」「重いものを動かす・運ぶ」が多くあがりました。一方で“身の回りで困っている人がいるときに手伝えることができるか”という質問には、お手伝いできる人が半数以上いるという結果がでました。



お手伝い可or不可



アンケート調査結果について協議体で共有したところ、「すこやか倶楽部に通う方は比較的元気な方なので、対象が変わると結果も変わってくる」「お手伝いができるという回答は、近くの友人・知人に対してだと思ふ。不特定の方への対応だと少なくなるのではないかな」などの意見がでました。元気な方でも「高所作業」などの困りごとのニーズが多いということで、相談先として地域の社会資源である生活支援団体と地域住民が連携できるようにコーディネートを行いました。

生活支援コーディネーターとしての思い

今回の取り組みから「調査の対象者をもっと広げる」「お手伝いできる範囲について細かく聞き取りをすること」が課題として見えました。次年度は町内会や地域住民とのつながりをつくり、これらの課題について掘り下げていくとともに、講座の開催等を通して担い手の養成に努めていきたいと思ひます。

活動事例
10

手稲区 第2エリア 手稲鉄北地区
「広報紙による取り組みの発信から新たな担い手の発掘・活躍へ」



●事例の概要

令和5年度から続く生活支援の取り組み「包丁研ぎ」を地域に対しに発信することで、課題であった新たな担い手の発掘ができ、特技を活かした活躍は生きがいの創出にもなっています。

●事例の地域の概要

手稲鉄北地区は、区内でも老人クラブやふれあい・いきいきサロンなど集いの場が比較的多い地域ではありますが、集いの場に出てこない、閉じこもりがちの方もあるとの声も聞かれます。

●具体的な取組内容

《包丁研ぎの取り組みの動き》

令和5年度以降、手稲鉄北地区福まちや地域のボランティアと共に、生活支援の取り組みとして「包丁研ぎ」を実施

令和6年度の協議体において「新たな担い手（研ぎ手）の確保」が今後の課題として挙がる



令和7年度の「包丁研ぎ」に新たな研ぎ手が参加、活躍

使用後に寄せられた感想・感謝の声を研ぎ手にフィードバック

《コーディネーターの動き》

生活支援体制整備事業広報紙で取り組みを地域に発信
その中で、包丁研ぎが得意な方を募ってみる



広報紙を見た地域のケアマネジャーから、「包丁研ぎが得意な元大工の利用者さんが『包丁を研いであげたい』との希望を持っているので、叶えてあげたい」との願いが寄せられる



ケアマネジャー、本人・家族、入所施設、福まちなど関係者と調整

研いでもらった包丁の使用後の感想を福まちと協働で把握、「良く切れた」「料理が楽しい」など感謝の声が寄せられる



研ぎ手にとっても、社会参加の機会、やりがい・生きがいに

生活支援コーディネーターとしての思い

活動を支える新たな担い手は、高齢者施設利用者です。施設から地域に出て、いきいきと活躍する様子を目の当たりにし、福まちのメンバー、ケアマネジャー、生活支援コーディネーターは、社会参加の機会の大切さ、受け入れる地域の豊かさを再認識するに至りました。引き続き、地域の担い手の発掘や福まちの生活支援活動との連携に取り組んでいけたらと思います。

《第2層協議体会議の開催状況》

※赤字は令和7年度に設置された協議体

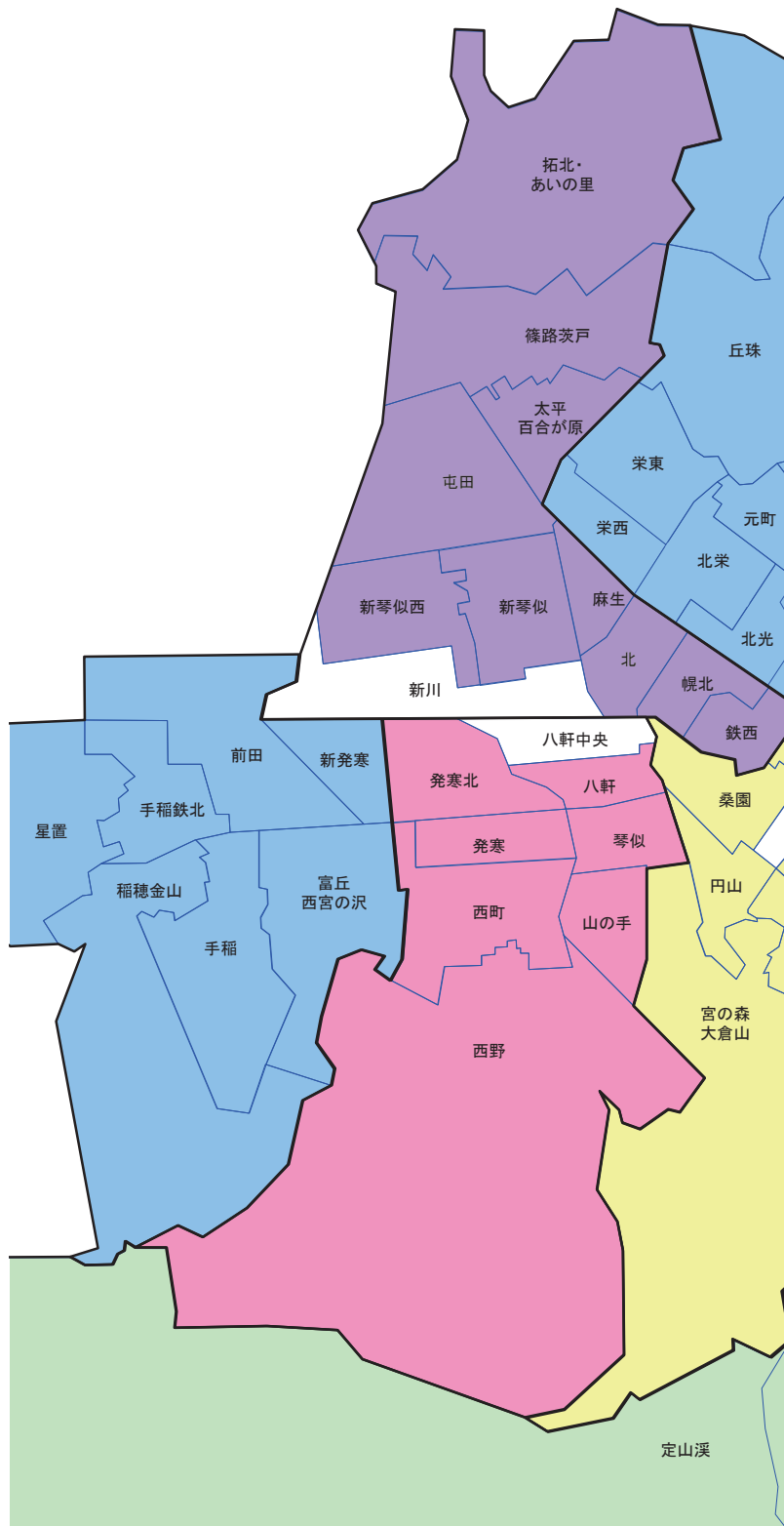
No.	中央区 2層協議体
1	桑園地区
2	中央地区(第8町内会)
3	宮の森大倉山地区
4	山鼻地区(第2町内会、北海道札幌南高校)
5	円山地区(UR北12条団地、店舗「わ」)
6	東地区(おちゃのみ)
7	曙地区(札幌静修高校)
8	西地区(秀和南七・八条レジデンス)
9	幌西地区(啓明グランドハイツ)
10	南円山地区(旭ヶ丘南町内会)

No.	北区 2層協議体
11	幌北地区
12	篠路茨戸地区
13	新琴似西地区
14	屯田地区(屯田団地町内会)
15	新琴似地区
16	鉄西地区(アパガーデンパレス札幌駅西)
17	麻生地区
18	太平百合が原地区
19	北地区
20	拓北・あいの里地区

No.	東区 2層協議体
21	北栄地区(美香保町内会、くらしのサポーター養成講座修了生)
22	元町地区(一区町内会、三区町内会、元町福祉専門部会)
23	栄西地区(第4分区、福まち、単町会長等、第1分区、第2分区、くらしのサポーター養成講座修了生)
24	札苗地区(中沼団地町内会、モエレ町内会、札苗南町内会、札苗あゆみ町内会、 札苗地区福まち・関係機関)
25	伏古本町地区(伏古団地自治会、共栄西町内会、伏古本町地区福まち・関係機関・学生)
26	丘珠地区(丘珠みなみ町内会、栄ヶ丘会館近隣町内会等、北丘珠エリア町内会)
27	北光地区(すこやか倶楽部・自主G、道営光星2号棟自治会、 くらしのサポーター養成講座修了生・連町社会福祉部・学生)
28	栄東地区(くらしのサポーター養成講座修了生、 栄東地区福まち)
29	鉄東地区(鉄東地区連絡協議会、福まち、 企業、学生)
30	苗穂東地区(道営苗穂グリーン団地自治会)

No.	白石区 2層協議体
31	白石地区(白石中央第5町内会、UR本郷団地、南郷丘町内会)
32	菊の里地区(米里町内会、菊の里地区福まち)
33	東白石地区(本郷町内会、白石老人福祉センター、親郷長正学園、 東白石地区福まち)
34	東札幌地区(東札幌6条団地)
35	北東白石地区(北都町内会)
36	白石東地区(栄自治会、柏山会、 柏町内会)
37	北白石地区(北郷東町内会、 北郷団地)
38	菊水地区(菊水上町連合町内会、 菊水地区福まち)

No.	厚別区 2層協議体
39	厚別南地区(厚別南区地区福まち)
40	厚別中央地区
41	厚別東地区(厚別東地区福まち、小野幌クラブ)
42	もみじ台地区
43	厚別西地区
44	青葉地区(青葉町E・F団地あさがお会、 青葉町A団地みどり自治会)



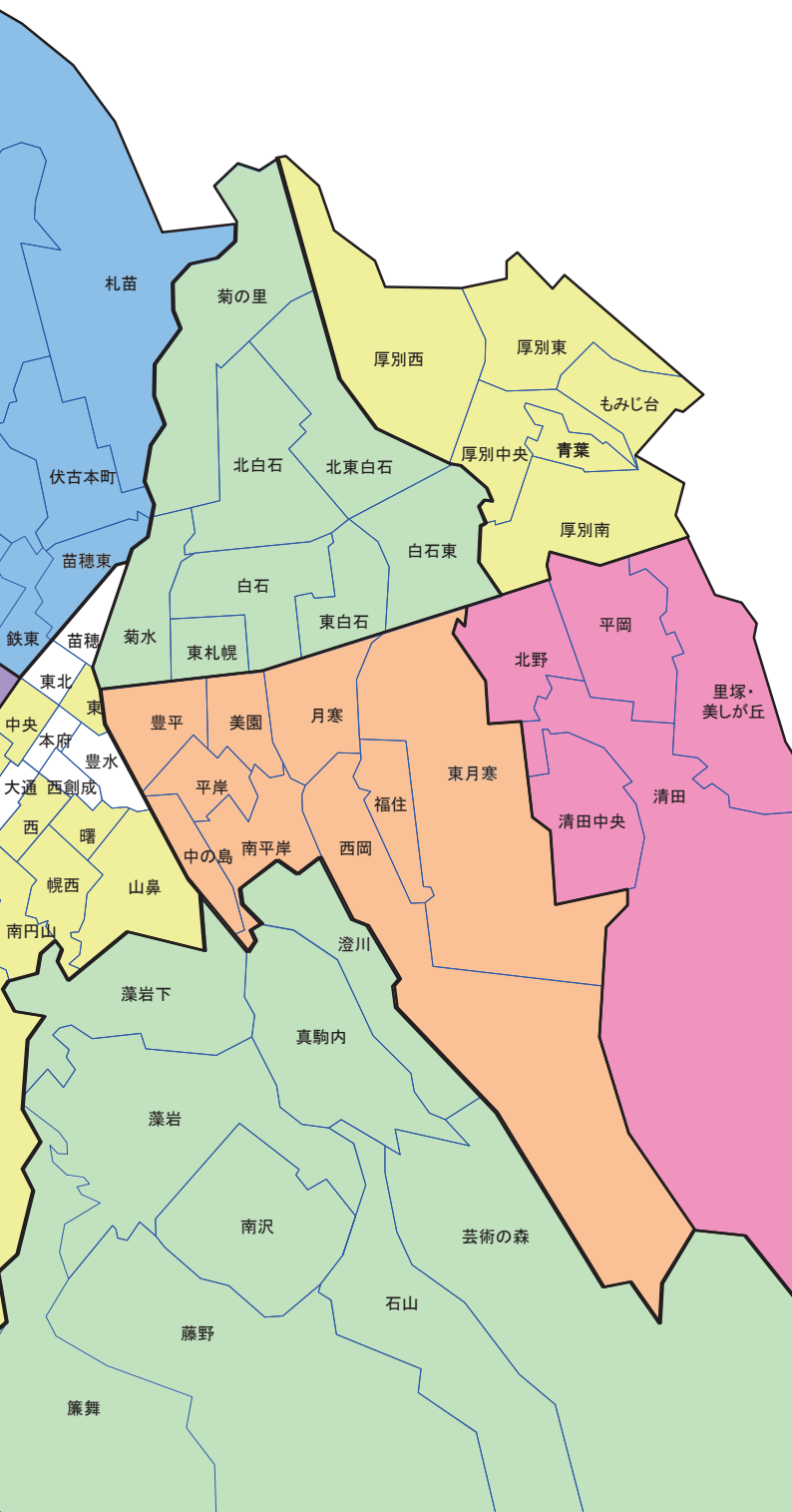
No.	豊平区 2層協議体
45	中の島地区 (地区民児協・福まち、1区町内会)
46	月寒地区 (西月寒団地、月寒東団地)
47	西岡地区 (西岡北団地、西岡南団地、西岡地区民児協・福まち・老人クラブ・サロン)
48	福住地区 (老人クラブ、福住さつき町内会、まちづくり協議会、 福住地区福まち)
49	豊平地区 (旭水町内会、第一分区分内会、豊平鉄南エリア)
50	美園地区
51	平岸地区 (南平岸地区合同、新木の花団地自治会)
52	南平岸地区 (平岸地区合同、高台8町内会、グランドハイツ平岸台、東急ドエル平岸台)
53	東月寒地区 (福まち、地域の福祉関連事業所)

No.	清田区 2層協議体
54	北野地区 (北野 641 自治会、北野グリーンタウン自治会、北野新和町内会)
55	清田中央地区 (清田南若葉会・清田自治会、清田西町町内会・清田団地元町町内会)
56	平岡地区 (平岡三条団地自治会・平岡春風台町内会、平岡小学校前町内会、ロピア平岡Ⅱ、 平岡南団地自治会)
57	里塚・美しが丘地区 (里塚団地自治会、美里町内会、美しが丘団地自治会、 里塚ラクマンション桂台町内会)
58	清田地区 (真栄団地町内会、 清田町内会)

No.	南区 2層協議体
59	石山地区 (石山五区第一町内会、石山ヒルタウン町内会、 石山七区町内会)
60	藤野地区
61	藻岩下地区 (藻岩下第10町内会、藻岩下第3町内会)
62	南沢地区
63	真駒内地区 (UR あげぼの団地、真駒内緑町第一住宅団地、 真駒内上町地区)
64	定山溪地区
65	藻岩地区 (中ノ沢地区、北ノ沢王子団地町内会、市宮川沿団地自治会)
66	芸術の森地区
67	澄川地区 (新陽町内会)
68	簾舞地区 (第6ブロック)

No.	西区 2層協議体
69	琴似二十四軒地区 (ラポール二十四軒)
70	山の手地区 (やまべのつどい運営委員会)
71	発寒地区 (発寒団地自治会、 発寒地区福まち)
72	西野地区 (平和第一町内会、昭和地区)
73	西町地区 (宮の沢町内会)
74	発寒北地区 (発寒団地町内会、 発寒北地区福まち)
75	八軒地区 (NPO 法人あかはなスマイルキッズ、八軒東地区)

No.	手稲区 2層協議体
76	富丘西宮の沢地区
77	手稲中央地区
78	前田地区 (ひまわり町内会)
79	手稲鉄北地区 (稲山連合町内会、手稲鉄北地区福まち)
80	稲穂金山地区 (金山地区)
81	新発寒地区 (新発寒寿会、新発寒わらび連合町内会)
82	星置地区 (星置寿会)



<令和8年3月現在>

お問い合わせ先

生活支援体制整備事業についてのお問い合わせは、札幌市社会福祉協議会もしくは第1層生活支援コーディネーターが配置されている区社会福祉協議会へご連絡ください。

名称	所在地	電話番号
中央区社会福祉協議会	札幌市中央区南3条西11丁目 中央区複合庁舎5階	281-6113
北区社会福祉協議会	札幌市北区北24条西6丁目 北区役所1階	757-2482
東区社会福祉協議会	札幌市東区北11条東7丁目 東区民センター1階	741-6440
白石区社会福祉協議会	札幌市白石区南郷通1丁目南8 白石区複合庁舎1階	861-3700
厚別区社会福祉協議会	札幌市厚別区厚別中央1条5丁目 厚別区民センター1階	895-2483
豊平区社会福祉協議会	札幌市豊平区平岸6条10丁目 豊平区民センター1階	815-2940
清田区社会福祉協議会	札幌市清田区平岡1条1丁目 清田区総合庁舎3階	889-2491
南区社会福祉協議会	札幌市南区真駒内幸町2丁目 南区役所3階	582-2415
西区社会福祉協議会	札幌市西区琴似2条7丁目 西区役所1階	641-6996
手稲区社会福祉協議会	札幌市手稲区前田1条11丁目 手稲区民センター1階	681-2644
札幌市社会福祉協議会	札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階	614-3344

●作成 社会福祉法人 札幌市・区社会福祉協議会 / 社会医療法人 豊生会 / 労働者協同組合 ワークスコープ・センター事業団 / 医療法人 重仁会 / 社会医療法人 恵和会 / 医療法人 愛全会

●問合せ 社会福祉法人 札幌市社会福祉協議会
札幌市中央区大通西19丁目1-1 札幌市社会福祉総合センター3階
TEL: 011-614-3344 FAX: 011-614-1109

●発行日 令和8年3月